

第30回 北九州市迷惑行為防止推進協議会（書面開催）会議結果

令和3年2月に開催を予定しておりました第30回北九州市迷惑行為防止推進協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催となりました。

令和3年2月15日に書面による確認依頼をおこない、下記のようなご意見をいただきました。

【委員意見】

1 コロナ禍における迷惑行為防止活動について

- ・コロナの影響で外出する人や旅行者が少なかった分、“重点地区”での迷惑行為は少なかったのではないかと。
- ・コロナ禍で会議等が難しくなった。この活動も効果的な工夫が必要だと。

2 広報・啓発の方法について

- ・市政だよりの迷惑行為特集は、分かりやすく、目を引いたので、今後も定期的に続けてほしい。
- ・チラシ等紙での啓発よりも、SNSやホームページ等に力を入れたほうが認知度は上がると思う。
- ・今後は、ポケットティッシュの配布による街頭啓発は難しいと思うが、重点地区、推進地区での啓発活動は必要。商店街や企業、学生等と協力してパトロールする等、産官学が連携し、みんなで取り組んでいるといった状況を作るとよいのではないかと。

〔対応等〕

今後も、コロナ禍での新たな啓発活動として、アナウンスによる啓発活動やパトロール、市政だよりやホームページ等により効果的な、啓発活動を行います。また、商店街や企業、学生等と協力した取り組みについて検討を行います。

3 モラル・マナーアップ教育について

- ・小学6年生向け道徳教材も大切だが、一時的なものになっている気がする。
- ・小学校でタブレット学習が始まったので、それを活用できれば良いと思う。

〔対応等〕

令和3年度は、標語コンクールに新たに団体賞を設け、優秀校を表彰する取り組みを行う予定です。これにより、継続的な参加を推進します。

4 市政モニターアンケートの結果について

- ・小倉都心、黒崎副都心両重点地区で、迷惑行為の状況が改善されたと答えた人の割合が増加していることは、活動の成果だと思う。
- ・地域住民による活動が必要であり、参加したいとの回答も多いことから、自治町内会への働きかけが必要だと思う。さらに改善が必要だと回答した割合が高かった「飼い犬のふんの放置」「ごみのポイ捨て」等は、地域の町内会で取り組むことが改善の早道だと考える。

〔対応等〕

多くの市民が参加できるよう、現在行っている地域支援活動をより推進していきます。

※ 次回は、令和3年8月に「第31回 北九州市迷惑行為防止推進協議会」の開催を予定しています。